

交通事故防止対策の取り組み状況について

令和8年2月4日(水)

公益社団法人全日本トラック協会

「トラック事業における総合安全プラン2025」の目標達成に向けた主な取り組み

目 標

国
交
省

■事業用自動車総合安全プラン2025 ※1

区 分	令和3年 実績	令和7年 最終目標
死者数	229人	190人以下
重傷者数	1, 282人	1, 280人以下
人身事故件数	14, 031件	9, 100件以下
追突事故件数	5, 683件	3, 350件以下
飲酒運転	(飲酒運転事故)32件	ゼロ

※1 軽を含むトラックの目標値

全
ト
協

■トラック事業における総合安全プラン2025 ※2

区 分	令和3年 実績	令和7年 最終目標
死者数+重傷者数	1, 139人	970人以下
飲酒運転	(飲酒運転事故)14件	ゼロ

※2 軽を除くトラックの目標値

【参考】「第11次交通安全基本計画」(内閣府・令和3年3月29日決定)における「道路交通安全についての目標」:

世界一安全な道路交通を目指し、令和7年までに24時間死者数を2,000人以下にする。／令和7年までに重傷者数を22,000人以下にする。

トラック事業における目標達成に向けた主な取り組み内容

① 交通事故防止対策にかかる安全装置の普及促進

- ・後方視野確認支援装置、側方衝突監視警報装置、呼気吹き込み式アルコールインターロック装置などの交通事故防止にかかる安全装置の導入を促進するため、助成等の支援

② トラック運転者の運転技術・マナー及び安全意識の向上

- ・各都道府県トラック協会、警察等関係当局との連携による飲酒運転根絶に向けた署名活動等
- ・安全教育訓練の受講者に対する助成の実施
- ・全国トラックドライバー・コンテストの実施
- ・「プラン2025目標達成セミナー」等、交通事故防止に向けた講習等の実施
- ・大型車の車輪脱落事故防止対策の推進

③ 事故分析及び対策の検討・活用

- ・事業用トラックにかかる交通事故統計分析による、事故原因等を踏まえた実効性のある事故防止対策の展開

④ 広報・啓発活動等

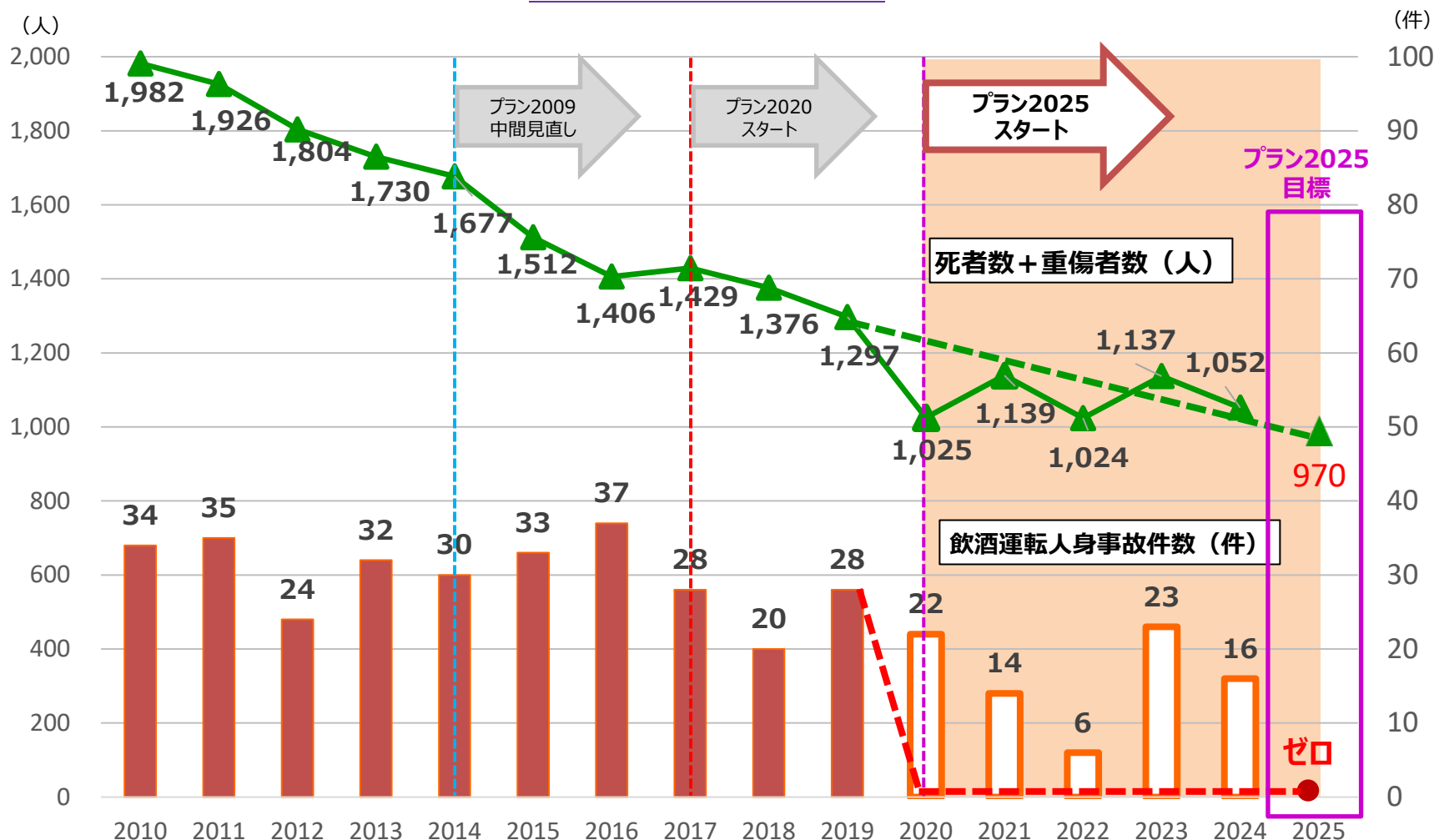
- ・各種媒体による効率的、効果的な啓発、広報活動の実施



「トラック事業における総合安全プラン2025」の目標値と進捗状況(令和6年)

令和7(2025)年の目標値：「死者数」と「重傷者数」の合計**970人以下**／飲酒運転人身事故件数**ゼロ**

(いずれも軽貨物を含まない)

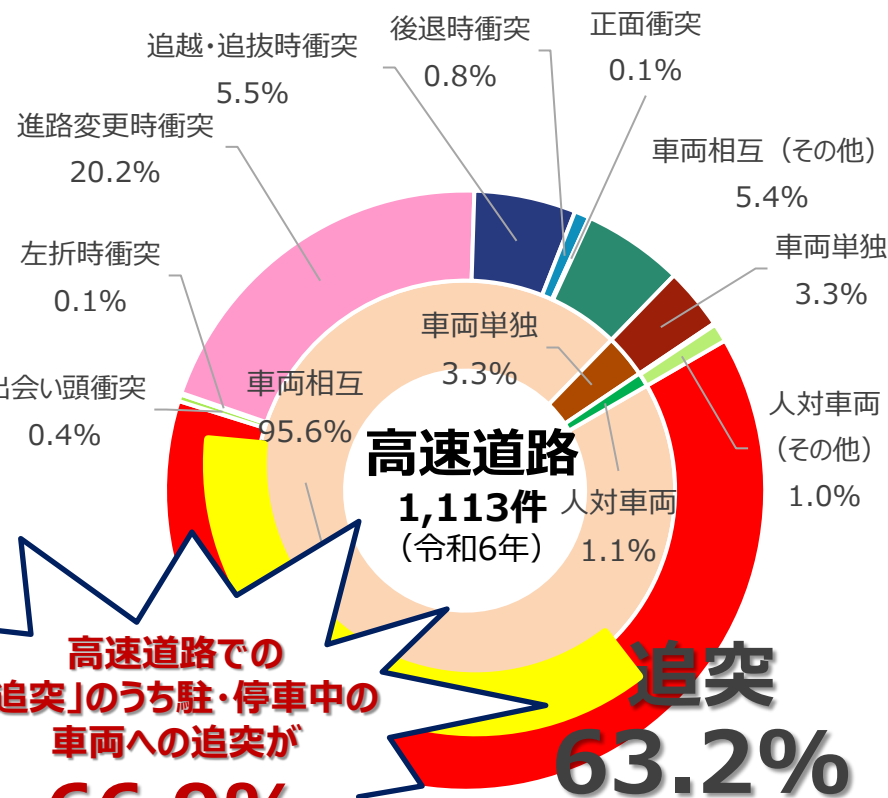
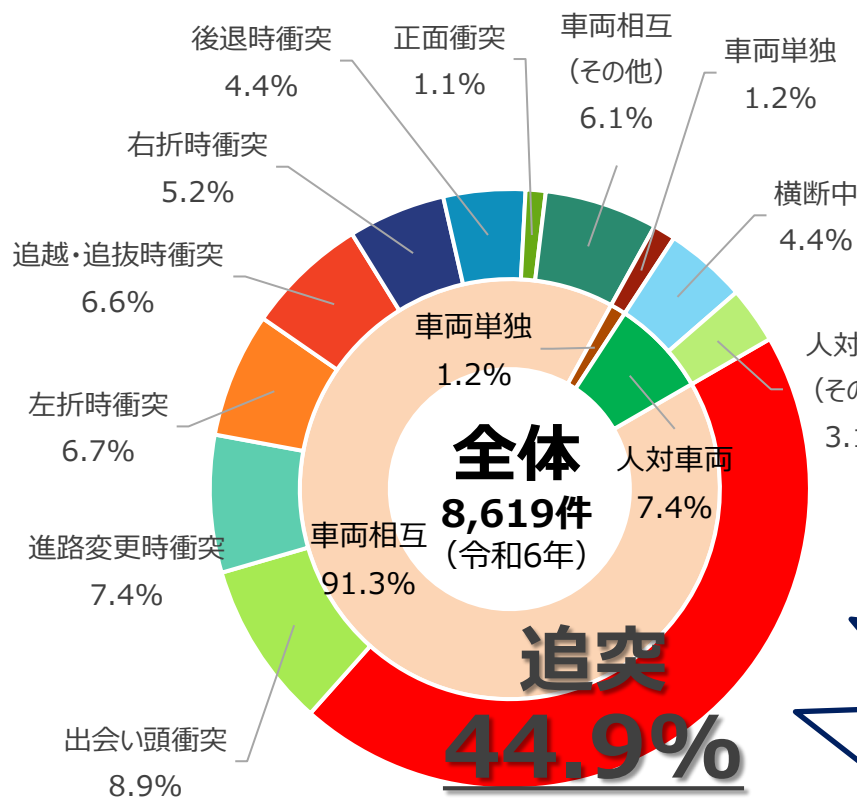


数字はいずれも軽貨物を含まない。 出典：警察庁「交通事故統計」および（公財）交通事故総合分析センター「交通統計」



事業用トラックが第一当事者となる死傷事故の状況（令和6年）

事業用貨物自動車の事故類型別死傷事故件数の構成率（令和6年）



高速道路での
「追突」のうち駐・停車中の
車両への追突が
66.9%

ポイント!!

**車間距離・制限速度・健康管理
がポイント!**

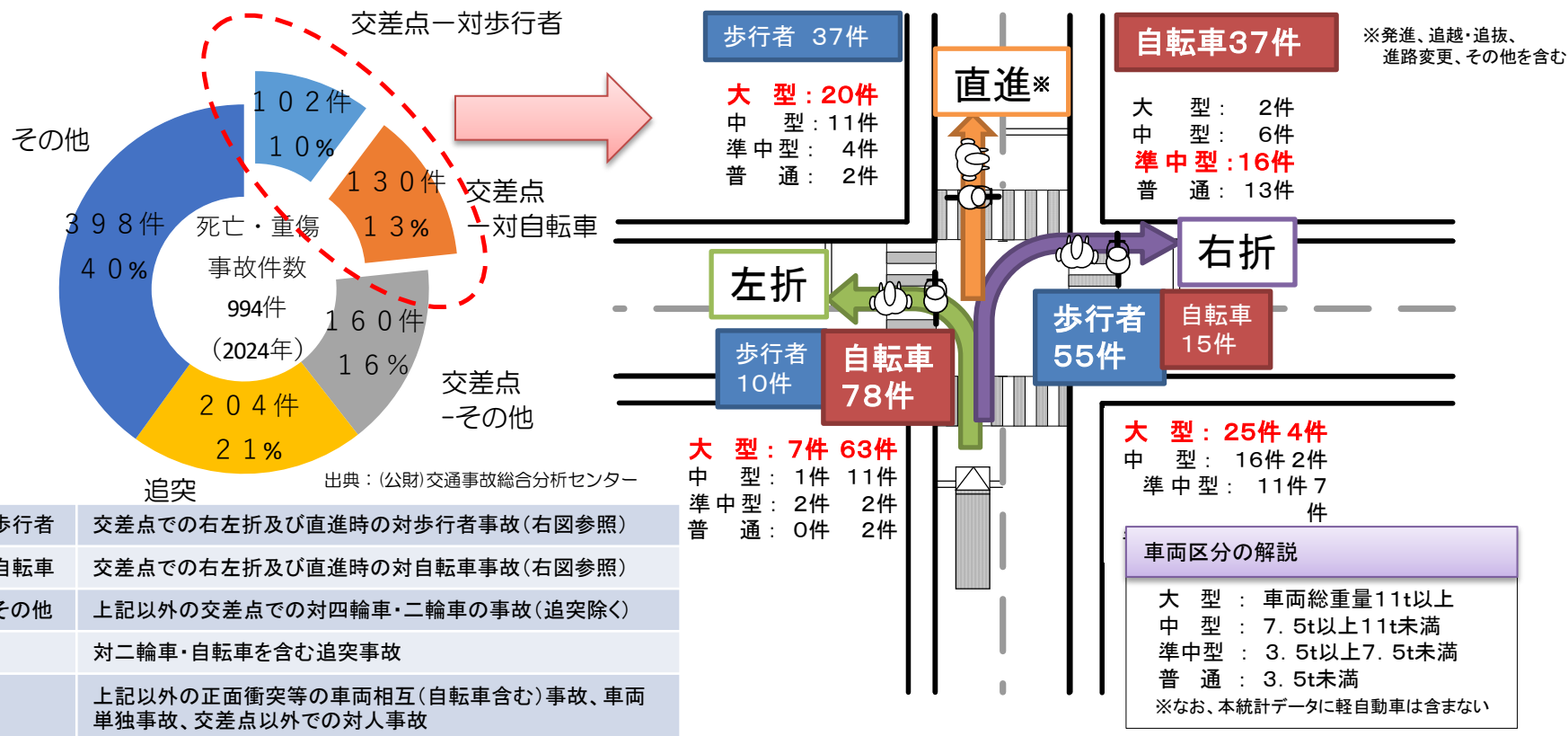
※死亡事故件数は事業用自動車が第一当事者となるものであり、トラックには軽自動車を含まない
※ 令和6年12月末時点の発表値 出典：警察庁「交通事故統計」



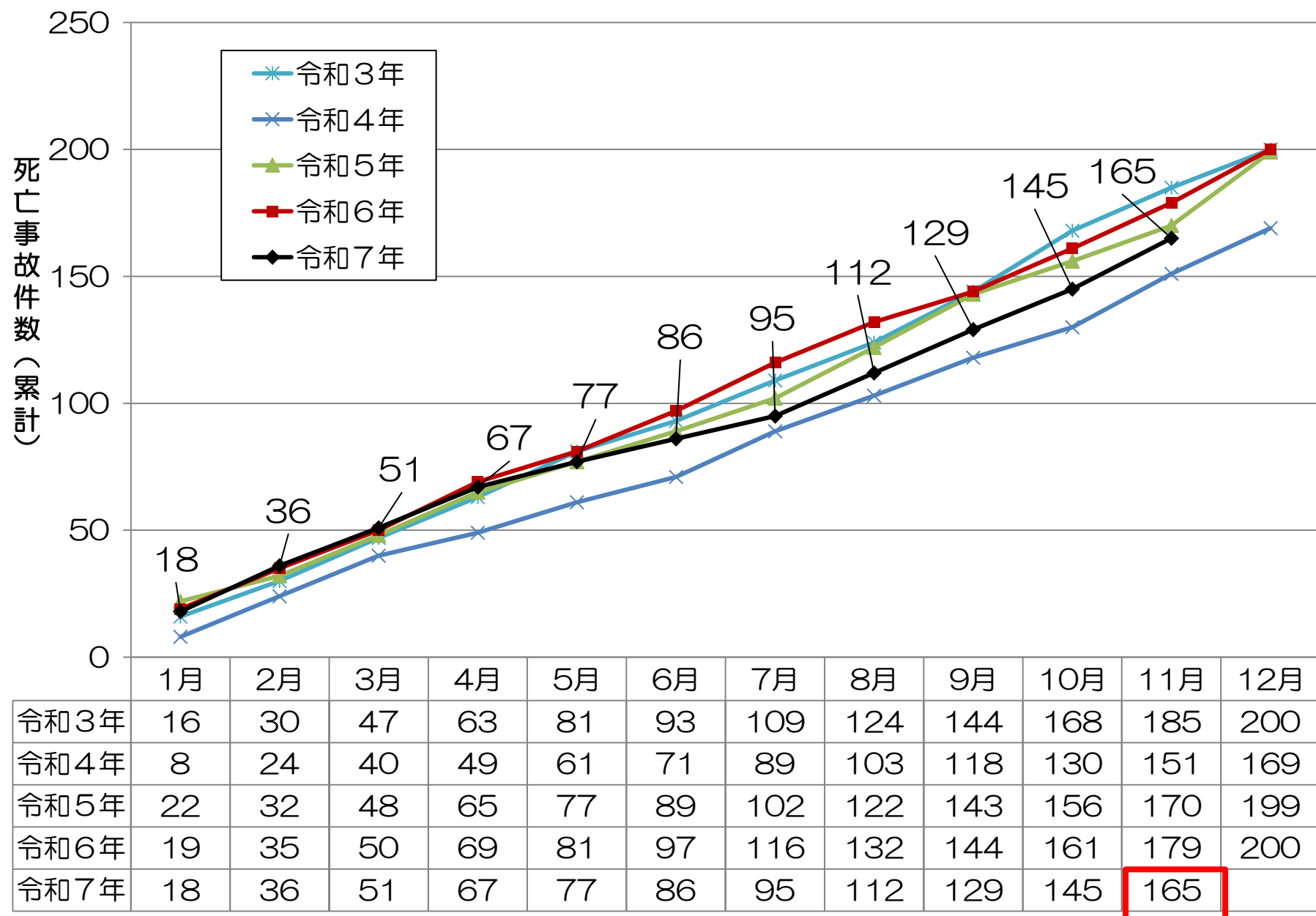
事業用トラックが第一当事者となる死傷事故の状況（令和6年）

- ・事業用トラックが第1当事者となる交差点における対歩行者、対自転車の死亡・重傷事故(232件)は、追突事故(204件)の**1.1倍**
- ・直進死亡・重傷事故は、**対歩行者、対自転車がそれぞれ5割(37件)**であり、**対歩行者の5割以上が大型車、対自転車の4割以上が準中型車**
- ・左折死亡・重傷事故は、**9割近くが対自転車(78件)**であり、**対自転車の8割以上が大型車**
- ・右折死亡・重傷事故は、**8割近くが対歩行者(55件)**であり、**対歩行者の5割近くが大型車**

■ 交差点における死亡・重傷事故件数の状況（対歩行者・対自転車）



事業用トラックが第1当事者となる死亡事故件数の推移（R3～R7）



令和7年度交通・環境部所管の助成事業について

事業用トラックの交通事故ゼロを目指すため、予防安全に資する装置に対する助成事業を実施中

助成事業	助成対象			助成額
安全装置	<p>①後方視野確認支援装置</p> 	<p>②側方衝突監視警報装置 (車両総重量7.5トン以上の事業用トラック(トラクタの場合は第5輪荷重8.5トン以上))</p> 		<p>①③④対象装置ごとに取得価格の1/2、上限2万円</p> <p>②車両1台につき、取得価格の1/2、上限10万円</p> <p>⑤1事業所1台、取得価格の1/2、上限3万円</p>
	<p>③呼気吹き込み式アルコールインターロック装置</p> 	<p>④IT機器を活用した遠隔地で行う点呼に使用する携帯型アルコール検知器(Gマーク認定事業所に限る)</p> 	<p>⑤トルク・レンチ(「600N・m」以上の締め付け能力を有する大型車用)</p> 	

1. セミナーの概要

2025年を目標年とする「トラック事業における総合安全プラン2025」の事故削減目標を達成するために、プランの内容と、飲酒運転事故及び交差点事故、追突事故の対策を中心に、最新の情報を織り込んだ事故防止対策について解説を行うセミナーを令和3年度から開催。

令和7年度は、NPO法人いのちのミュージアムの協力により、「生命のメッセージ展」を希望する協会において併催。

2. セミナーの種類

①プラン2025目標達成「フル」セミナー

事故防止対策について解説する座学（1時間程度）と小集団での情報交換（1.5時間程度）を行うセミナー。

②プラン2025目標達成「出前」セミナー

主に、事業用トラック1万台あたりの死者・重傷者数の多い都道府県を中心に、その支部において開催するセミナー。
セミナーの内容は、事故防止対策について解説する座学中心のセミナー。

【 座 学 】



【 小集団での情報交換 】



【 生命のメッセージ展 併催 】



大型車の車輪脱落事故防止対策

●「さらに減らそう車輪脱落事故」パンフレットの作成

冬用タイヤに交換した大型トラックから左後輪が外れたことによる死傷事故が相次いで発生したことから、同種事故の再発防止のため、車輪脱落を防ぐための具体的なタイヤ交換作業の手順と方法について啓発するDVD・パンフレットを作成。また令和7年10月には、啓発資料を全国の会員事業者配布するとともに、全ト協のHPで公開。

●国交省、日本自動車工業会等との連携

国土交通省と連携し、「大型車の車輪脱落事故防止に係る令和7年度緊急対策」を実施し、会員事業者に対し、適切なタイヤ脱着作業やタイヤ脱着作業後の増し締めの実施、保守管理の重要性等について周知徹底を図った。

また、日本自動車工業会作成「ホイールボルト、ナットやディスクホイール、ハブの錆に注意！」チラシを令和7年9月25日付機関紙「広報とらつく」に同封し、会員事業者配布するとともに、全ト協のHPで公開。

事業者努力の結果、2021年度以来の減少!

年次	重傷事故	軽傷事故
2024年	1件	2件
2023年	1件	1件
2022年	1件	1件
2021年	1件	4件

近年の人身事故の状況

